

日本求職經驗分享

陳好芳

我是從台灣來的留學生。曾經於京都大學大學院農學研究科就讀兩年，並從今年春天開始在日本企業上班。

從小就對日本有著很大憧憬，因此碩士選擇在日本就讀，也決定了自己第一份工作也要在日本開始。本來以為會了日文、也在日本求學了，會比較佔優勢，但其實在日本求職過程並沒有自己想像的那麼順利。

首先是語言問題，雖然在台灣就略有學習日文，但是在京都大學的課程是全英文課程，平常也因為實驗的繁忙，不太有時間加強自己的日文，因此在剛開始寫履歷表、準備面試的時候屢屢產生挫敗感，不知該如何著手。幸好有實驗室的學長姐指點，以及請了日本朋友幫忙看語法、用法上的問題，並且參考網路上前輩們之前寫的履歷格式、習慣用詞，花了不少時間才成功撰寫履歷以及獲得面試的機會。

再來是求職文化的問題，從小便在台灣長大、沒有作正職的經歷、再加上日本的求職文化與台灣幾乎不相同，在一開始求職時資訊的獲得很不容易，也一度想要放棄在日本找工作。比如說，台灣的求職活動幾乎是全年都有，多數人都是畢業之後才找工作，但是日本大部分的學生都是求學中(畢業的前一年)就開始找了；還有，在台灣的公司面試時，似乎不會有三次的面試，但是在日本卻是家常便飯的事情，這些不同讓我花了不少的時間去適應。幸好有參與學長姐推薦的一些留學生支援團體，像是 KyoTomorrow (團體裡有專門幫助留學生適應日本文化及日本求職環境的人士)以及與其他同樣在找工作的留學生一起交換資訊、互相鼓勵，才終於在求職期間的尾聲找到了自己理想的公司以及工作。

其實找工作剛開始時，因為公司的種類跟數量太多，花了很多時間去學習怎麼挑公司跟工作。透過自己的摸索以及學長姊的介紹，參與求職活動的時候是以自己的優勢和興趣為準則來選擇公司。並且再藉著寫履歷書以及準備面試的過程，進一步找出自己真正想要的做的工作是甚麼。

一個人在不熟悉的國家裡求學、適應、求職，過程中雖然必須獨自面對許多棘手的挑戰，縱使會感到疲倦，甚至數度打擊信心、令人產生放棄的念頭，但也是這些辛苦與挫折使我更獨當一面。另外，我很感激周圍人對我的鼓勵與支持，透過這些人和團體的協助與扶持，使我不必一個人如無頭蒼蠅般亂闖、四處碰壁，更順利克服這些考驗，成功拿到內定。總之，不要害怕挫折與挑戰，找到方法與同伴，一起克服重重困難吧！

★ホストファミリーよりコメント★

陳さんの投稿を読んで、彼女の就職活動が大変だったと痛感しました。昨年の5、6月ごろ就職活動がうまくいかないと聞きましたが、私にはどうすることもできず、ただ、話しを聞くだけでした。1つ内定がきまりホッと、それから1ヶ月後ぐらいだったと思いますが、行きたい会社から内定をもらい、一緒に喜んだことを覚えています。

これから日本の企業で働くことは大変だと思いますが、頑張っしてほしいと思います。疲れたときは、何時でも羽を休めに京都の家に帰ってきてください。待っています。

★和訳★

日本での就活経験のお裾分け

陳好芳

私は台湾からの留学生です。京都大学大学院農学研究科に2年在学し、今春日本企業に就職しました。

私は小さい時から日本にあこがれていました。修士課程へは日本で進学し、最初のキャリアも日本で始めることにしました。日本語が出来、日本で勉強すれば有利になるだろうと思っていましたが、日本での求職は思っていたほど簡単ではありませんでした。

まずは言葉の問題です。台湾である程度日本語を学んでいたとはいえ、京都大学の課程はすべて英語課程だった上に普段は実験に追われ、日本語のレベルを上げる時間がほとんどありませんでした。したがって履歴書を書いたり面接の準備を始めたときはしばしば挫折感に見舞われました。何から手を付けたらいいかわかりませんでした。幸いなことに研究室の先輩がいろいろ教えてくれたり、日本人の友人に文法や用法の問題を助けてもらったり、更にはネットで先輩たちの書いた履歴書の様式や慣用句などを調べ、少なからぬ時間をかけてやっと履歴書を書き上げ面接の機会を獲得しました。

もう一つは求職文化の問題です。小さい時から台湾で育ち、仕事の経験もなく、その上日本の求職文化が台湾とかなり異なっていて求職を始めたとき情報の獲得が大変難しく一度は日本での就職を諦めかけました。その違いは例えば台湾では就職活動は一年を通じて行われていて、多くの学生は卒業してから仕事を探し始めます。しかし日本ではほとんどの学生が在学中（卒業の一年前）から始めます。ほかにも台湾の会社では面接が三次までであるというようなことはほとんどありませんが日本ではこれは日常茶飯事です。このような違いに適応するのに少し時間がかかりました。幸いなことに研究室の先輩が薦めてくれたいくつかの留学生支援団体、例えば Kyotomorrow（留学生が日本文化や日本の求職環境に慣れるのを専門に手伝ってくれる人が居ます）や同じように求職中の留学生と情報交換したり、お互いに励まし合い、求職期間の終わりごろやっと自分の理想の会社の仕事に就くことが出来ました。

それにしても、仕事を探し始めたときは、会社の種類が多くて、どのように会社と仕事を選ぶかを学ぶのに大変時間がかかりました。模索を重ね研究室の先輩の話を聞く中で自分の優れたところと興味とを基準に会社選びをしました。また、履歴書を書いたり面接の準備をしたりする過程で自分が本当にしたい仕事は何かということがより深く分かりました。

不慣れな外国での進学、適応、求職の過程の中で一人で多くの厳しい挑戦に立ち向かい時には疲れ切り自信を失い、止めようかと思ったこともあります。しかしこれらの困難と挫折を経て少し一人前に成長したような気がします。また私は周りの人たちの激励や支援に大変感謝しています。これらの人たちや団体の支えのお陰で、やみくもに行き当たりばったりというようなこともなく、順調に試練を乗り越え内定を貰うことが出来ました。

挫折を恐れず、仲間と方法を見つけ出し、皆で困難を克服しましょう。